

令和元年度 指定管理者モニタリング評価表

1. 施設の概要等

施設の概要	施設の名称	YONETSU-KANささおか		担当課	清掃センター		
	所在地	あわら市笹岡第32字88番地2		開設年月日	平成8年10月		
	施設設置目的	圏域住民の福祉増進に寄与するとともに、健康と体力づくりの増進を図るため設置。					
	施設内容	敷地面積 12,000㎡ 延床面積 2,600㎡ 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建 【プール】流水プール・25m×3コース直線プール・幼児用プール・ウォーターライダー・ジャグジー 【風呂】一般風呂・薬風呂・水風呂・露天風呂・サウナ 休憩室・レストラン・談話室・ホール・屋外に多目的芝生広場・駐車場					
	指定管理者	イワシタ物産株式会社		選定方法	公募(応募者数3)・非公募		
	指定期間	平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日 (5年間)		(5年目)			
	指定管理者の主な業務	YONETSU-KANささおかの管理運営に関する基本協定書、管理運営業務仕様書等に定めた業務 ①管理運営に関する業務 (利用の案内・受付、利用料徴収、プール監視、設備機器運転及び監視保守、広報、多目的芝生広場管理、自主事業の実施等) ②維持管理業務 (保安警備、清掃、各設備保守管理業務等)					
	利用料金制の導入	有 ・ 無		指定管理料		有 ・ 無	
	施設の利用状況等	指標 (単位)	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比(%)	対前年比(%)
		入館者数 (人)	123,000	145,123	125,015	117.99%	116.08%
利用料収入 (円)		40,100,000	45,531,500	40,205,550	113.54%	113.25%	
自主事業収入 (円)		29,600,000	33,684,213	30,825,240	113.80%	109.27%	
【特記事項】							

収支	指定管理者収支(令和元年度)		
	項目	予算額	決算額
収入	指定管理料	37,440,000	37,440,208
	入館料	40,000,000	45,365,500
	利用料	100,000	166,000
	自主事業収入	29,600,000	33,684,213
	計	107,140,000	116,655,921
支出	人件費	36,650,000	39,053,548
	消耗品費	5,300,000	4,252,166
	光熱水費	30,500,000	25,580,082
	修繕料	1,150,000	1,046,791
	宣伝費	1,500,000	1,736,855
	通信料	250,000	221,535
	保険料	300,000	283,930
	委託料	7,025,000	6,470,648
	原材料費	15,050,000	14,725,415
	その他	9,023,000	15,696,009
計	106,748,000	109,066,979	
損益		392,000	7,588,942

2. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和元年7月～9月・令和2年2月	
	調査対象	入館者	
	調査方法	受付で入館者に依頼し、フロントで回収する。	
調査結果	調査対象数	138人 (男性65人、女性73人)	
	【利用者の満足度】	①大変満足 48% ②やや満足 40% ③ふつう 11% ④やや不満 1% ⑤不満 0%	
利用者からの意見・要望等	○笑顔の挨拶が良い。○言葉遣いが丁寧で明るいから良い。○お風呂が気持ち良かった。○とても楽しかった。○掃除が行き届いてきれい。○スタッフが自分の好みを覚えてくれている。○幼児と来ても安心できるプール設定。 ●夏休みは発券機が混雑していた。●プールの底を滑らかにしてほしい。●スライダーをもっと長くしてほしい。●浮き輪の持込みをOKにしてほしい。●夏場は水風呂をもっと冷たくしてほしい。●点字を付けてほしい。●味が濃いと感じた。●フライ以外の魚の定食があると良い。●館内の温度調整をまめに変わってほしい。●おつまみ類が少ない。●8号線からの入口がわかりにくい。		

3. 指定管理者による自己評価

令和元年度の自己評価	設置目的に沿った運営を行うことで圏域の皆さまに貢献する営業が出来たと思われま。またTV・ラジオやSNS・HPといった媒体を使用した宣伝を強化した事で県内圏域外や県外のお客様にも広くご来館いただき、一定の評価をいただけたものと実感しております。繁忙次期や週末においてのイベント開催や閑散期においての営業など、お客様の要望や状況に沿った店舗経営など5年間という経験が存分に生かされた年度であったと感じております。次の5年間の継続が決まった事は、この「余熱館ささおか」に特化した経験を活かせる機会が続くという事で、更なる利便性・心地よさ・快適さを追求して気持ち良くご利用いただけるよう考え対応してまいります。
今後の目標	ご来館者の増加に伴う新たな課題も出始めており、想定を超える来館者数があった場合などのスムーズなお客様の動線確保や、快適に過ごしていただく為のご案内など、限りあるスペースを有効に使用できるよう工夫して、更なる「利便性」の向上を目指します。また、スタッフの意識の向上に努める事で業務に対する「積極さ」を高め、余熱館全体の接客レベルの底上げを実施してお客様が「心地よさ」をより深く実感して頂けるように対応してまいります。館内における温度管理やお風呂やプールでの温度管理、そして過ごされる場所における衛生環境や清掃の実践など過ごしやすい環境を提供しお客様の求める「快適さ」を更に追求してまいります。

4. 組合の評価

指定管理の成果等	広く広告宣伝活動を行うなど、目標達成に取り組んでおり成果をあげています。また、地域との連携をしており、地域に貢献しています。イベント等を行い年々入館者も増加しており十分評価できる。大きな事故などもなく良好に運営されている。
今後の課題	地域の特産物の取扱いについても、構成市町に拡大していただきたい。新型コロナ対策には万全を期して営業をお願いしたい。職員の資質向上を図り、よりお客様に心地よさを感じてもらえるよう努力されたい。

判断の基準		組合評価	指定管理者自己評価
S	極めて良好		
A	良好		
B	標準		
C	要改善		
D	早急な改善が必要	A	A